

令和4年度 大学院医学研究科 医学研究講義Ⅱ 日程表 (旧科目名称:基礎臨床共通講義Ⅱ-医科学研究特論-)

No.	開講期間	タイトル	担当教員	専門分野	講義内容
1	R04.05.31(火) 10時 ~ R04.05.31(火) 10時 R04.05.27(金)	自閉症スペクトラム障害における感覚処理および運動機能の特性	渥美 剛史	病態生理学	自閉症スペクトラム障害において喫緊の問題である感覚・運動障害について、認知科学や神経生理学的な観点から論じます。
2	R4.06.10(金) 10時 ~ R4.06.17(金) 10時	機械学習技術を用いたDNAメチル化プロファイルによる腫瘍分類	里見 介史	病理学	ゲノム異常による腫瘍分類は既に社会実装された。本講義では、脳腫瘍などで応用される新しい腫瘍分類手法を紹介する。
3	R4.06.27(月) 10時 ~ R4.07.04(月) 10時	血管研究における動物実験	伊佐治 寿彦	心臓血管外科学	血管研究における臨床応用をめざした動物実験に関して、倫理的な側面に言及しつつ網羅的に解説する。
4	R4.07.22(金) 10時 ~ R4.07.29(金) 10時	発汗が障害される疾患とその病態について	下田 由莉江	皮膚科学	汗は保湿や体温調節などに重要である。発汗障害に起因する多彩な疾患の病態について解説する。
5	R4.08.02(火) 10時 ~ R4.08.09(火) 10時	脊椎脊髄外科における脊髄誘発電位の臨床応用	高橋 雅人	整形外科学	杏林大学整形外科は、全国16施設で構成される日本脊椎脊髄病学会脊髄モニタリングワーキンググループの1施設である。脊椎脊髄外科の重篤な合併症に術後麻痺がある。術後麻痺発生を回避する目的で行われる脊髄誘発電位を利用した術中脊髄モニタリングについて、杏林大学から発信してきた基礎・臨床研究を簡潔に紹介する。
6	R4.08.30(火) 10時 ~ R4.09.06(火) 10時	構造生物学の医療との関連	田原 義和	代謝生化学	蛋白質を中心とする生体分子構造解析の成果が医療に反映される可能性を、ヘモグロビンから比較的最近構造解析された蛋白質までを例に説明する。
7	R4.09.27(火) 10時 ~ R4.10.04(火) 10時	気管支喘息と気道炎症	中本 啓太郎	呼吸器内科学	気管支喘息の本態は慢性の気道炎症である。本講義では気道炎症の病態と気管支喘息の最新治療について紹介する
8	R4.10.17(月) 10時 ~ R4.10.24(月) 10時	ゲノム編集技術の利用と実験データの統計的分析	苅田 慎一	衛生学公衆衛生学	モデル生物を用いた遺伝子機能解明の研究を事例に、ゲノム編集技術と統計的分析手法について解説する。
9	R4.11.02(水) 10時 ~ R4.11.09(水) 10時	女性骨盤底障害の診断と治療	金城 真実	泌尿器科学	女性特有の骨盤底障害について、疫学・診断及び最新の治療法を解説する。
10	R04.11.22(火) 10時 ~ R04.11.29(火) 10時 R04.11.24(木)	小児特発性ネフローゼ症候群の病態解明研究	田中 絵里子	小児科学	免疫異常を背景として腎糸球体上皮細胞の機能異常をきたす小児特発性ネフローゼ症候群について、免疫学的視点と分子生物学的視点による異なる視点からの研究を紹介する。
11	R4.12.06(火) 10時 ~ R4.12.13(火) 10時	子宮頸がんの予防	森定 徹	産科婦人科学	HPV感染から発癌に至るまで、その過程が明らかになってきた子宮頸がんに対するワクチン、検診による予防について解説する。
12	R5.01.25(水) 10時 ~ R5.02.01(水) 10時	高精細CTの原理と特徴と臨床的有用性	五明 美穂	放射線医学	当院にも導入されている高精細CTの原理、再構成技術と、それによる描出能の違い、臨床的有用性等を紹介し、本装置を用いた研究について触れる。
13	R5.02.07(火) 10時 ~ R5.02.14(火) 10時 R5.03.01(水) 17時 ~ (ZOOMによるオンライン講義。後日配信予定)	周術期口腔管理の実際	池田 哲也	耳鼻咽喉科学	当院では周術期管理センターにおいて、すべての全身麻酔患者の術前口腔評価を行っている。この全国的にも稀有な取り組みにより得られた事象について解説する。
14	R5.02.14(火) 18時 ~ (ZOOMによるオンライン講義。後日配信予定)	オルガネラストレス応答因子Syntaxin5の分子病態 ~分子はヒトの運命を、人は分子の運命までも左右する!?!~	須賀 圭	分子機能生化学	オルガネラストレス応答因子Syntaxin5の分子病態研究を概説し、1つの分子の機能を探究することで何が見えて来たかを紹介します。
15	R5.02.27(月) 10時 ~ R5.03.06(月) 10時	自己身体認知とその異常	渋谷 賢	統合生理学	身体を自己の一部と認識する自己身体認知の機序について、身体錯覚を用いた健常者研究や四肢切断患者を対象にした臨床研究などから解説する。

【医学研究講義について】

- 全てWeb形式で開講します。各講義の事前に、Web講義用URLをメールでお知らせいたします。
- 講義資料の視聴・閲覧だけでは出席と認められません。開講の際に通知する講義レポートに、氏名を明記のうえ回答・送信することで出席とします。
- 講義資料が動画の場合、ファイルサイズが大きくなります。ネットワーク環境が整っている場所で視聴することを推奨します。
- 講義資料はダウンロードできません。また、講義資料は大学院生の視聴・閲覧のみを目的として作成しています。大学院生以外の方の視聴・閲覧、画像のコピーや転載・転用は固く禁止します。

【公開論文発表会】

- 公開論文発表会・日程等は、医学研究科HPにより逐次公表します。参加1回で医学研究講義Ⅱを1コマ受講したものとみなします。但し、2コマを限度とします。
- 出席確認として、公開論文発表会「参加者名簿」に記載が必要です(記載が無い場合、受講したと認めません)。

【特別講義(特別講演会)及び、イブニングセミナー】

- 日程は、医学研究科HPにより逐次公表します。参加1回で医学研究講義Ⅱを1コマ受講したものとみなします。
- 出席確認として、特別講義(特別講演会)「参加者名簿」に記載が必要です(記載が無い場合、受講したと認めません)。